

## 朝鮮半島の動向分析

ERINA共同研究員  
東京国際大学大学院経済研究科講師  
李燦雨

### 軍事的緊張が消滅しない朝鮮半島

- 南北双方で約130万の兵力が対峙
- 東西冷戦の終結後も対立は継続
- とはいえ、ここ60年の朝鮮半島は結果的には大規模な戦闘は行われず、平和維持
- 緊張と対話が交互に存在する南北関係
- 日本の存在感は21世紀に入り低下
- 中国の大国としての存在感の増加（大国堀起）

## 朝鮮半島情勢と南北関係

- 金大中、盧武鉉政権下での包容政策
- 李明博政権下での限定的関与政策
  - 南北関係における前政権への批判
  - 前政権との差違を必要とする政治状況（保守への復帰）
  - 哨戒艦天安号事件、延坪島砲撃事件など休戦協定では規定されていない黄海上の境界線をめぐる軍事的対立の激化
  - 韓国民の北朝鮮に対する見方の変化

国連軍の主張する北方限界線 (A), 北朝鮮の主張する海上境界線 (B)



## 哨戒艦天安号事件（韓国政府の発表）

- 軍と民間の国際合同調査団（韓・英・米・豪・スウェーデン）は、天安は**北朝鮮の潜水艇による魚雷の攻撃**を受けて沈没したと断定。
- 結論の根拠：沈没現場の周辺で北朝鮮製の特徴を示す大型魚雷の残骸が発見、天安号の沈没に前後して北朝鮮の潜水艦と母艦の活動が確認

## 魚雷爆発による船体分離図



## 魚雷残骸の公開と魚雷設計図



## 未だに疑問点が多い事件

- 1) 魚雷爆発はあったのか (バブルジェット)  
バブルジェットの証拠なし (目撃なし)
- 2) 魚雷残骸の「**1번** (1番)」表示と酸化アルミの問題  
高熱にもなくなるインク (鉄板と塗料の上) に書いたもので、塗料がなくなっても維持)
- 3) TOD動画に沈没事故瞬間だけが欠如

## 未だに疑問点が多い事件

- 4) 魚雷残骸（推進体）は北朝鮮のものなのか  
謎の多い設計図面（北朝鮮の輸出品案内書の存在が不透明、CDで作成され加工されている）
- 5) 米軍との合同軍事訓練中の事件  
2010年3月26日、西海での米韓連合艦隊の訓練（Foal Eagle）が実施中：「艦船対潜水艦戦の準備および評価測定」（Ship Anti-Submarine Warfare Readiness and Evaluation Measurement, SHAREM）

## 魚雷バブルジェットによる攻撃であれば世界初



オーストラリアのバブルジェット実験



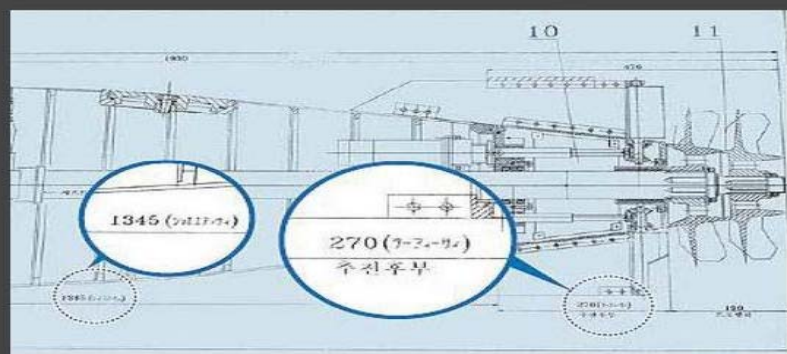
天安艦の破損状態

## 魚雷残骸の「1번 (1番)」の問題



## 魚雷の設計図のミス

어뢰 CHT-02D 설계도 일본어 의문



## 哨戒艦天安号事件

- 北朝鮮は事件関与を否定
- 中国とロシアは韓国政府の調査発表に疑問提起
- 米国と日本は韓国政府の主張を支持

## 哨戒艦天安号事件

### 天安号事件以降の変化

- 沖縄普天間米軍基地の移転問題が棚上げに

### 中国の対応

- 中朝関係の強化（2回の中朝首脳会談）  
北朝鮮の安全確保、経済支援、軍事交流  
6者会談の再開による外交的緩和努力を並行

## 哨戒艦天安号事件

### 北朝鮮の対応

- 金正日総書記の2回にわたる訪中：中朝協力の強化
- カーター元大統領の訪朝時のメッセージ（2010年8月25日）  
「1994年の枠組み合意と2005年9月に6者会談参加国が採択した規定に基づいて、朝鮮半島の非核化や戦争の終結を要望している」
- 寧辺のウラン濃縮施設の公開
- アメリカとの平和協定を追求

## 延坪島砲撃事件の発生





## 北朝鮮問題とは何か？

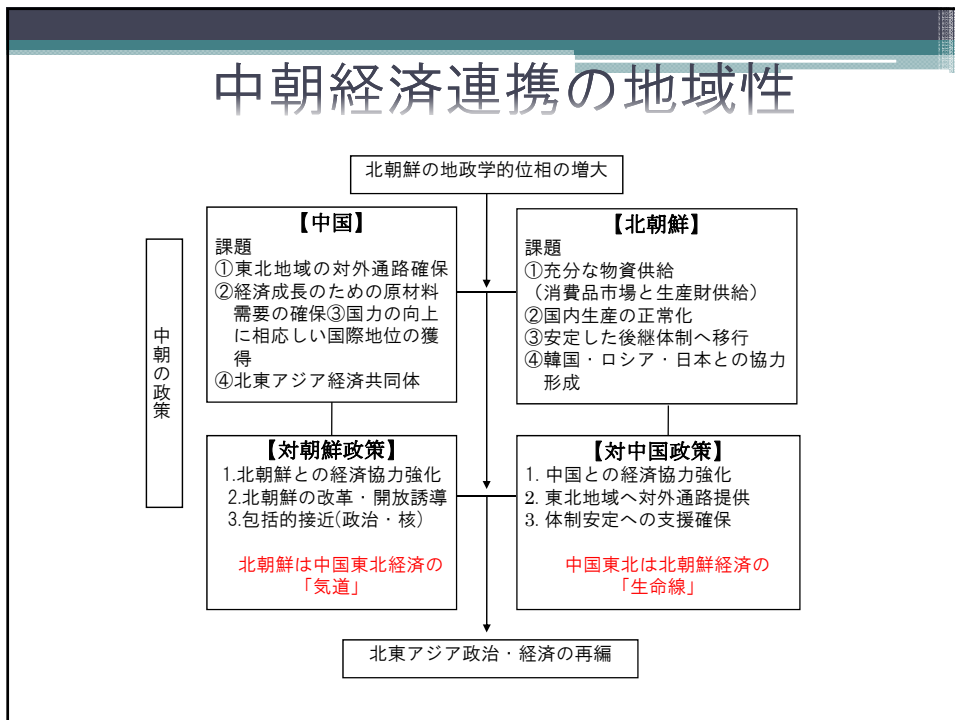
- 東西冷戦の後始末が終わっていない
  - 北朝鮮をどのように国際社会に取り込むか
  - 当初はクロス承認（中ソが韓国と、日米が北朝鮮と）を行うことが構想された
  - 中ソは韓国と国交正常化したが、日米はまだ
- 軍事的対立によるコストの増大
  - 韓国も北朝鮮も軍事に対する多大な投資
  - 特に北朝鮮にとっては過大な負担

## 北朝鮮問題の解決と北東アジア

- 「対立」の視点から「協力」への移行
- 北朝鮮の地政学的位置の経済協力への有効利用
  - 中国、ロシア、韓国に隣接する物流の大動脈
- 本格的な「東アジアの時代」の到来
  - 東アジアにおける経済成長の中心は日中韓
  - 北朝鮮を経済協力の枠の中に入れることが地域の安定を高め、協力を増進する



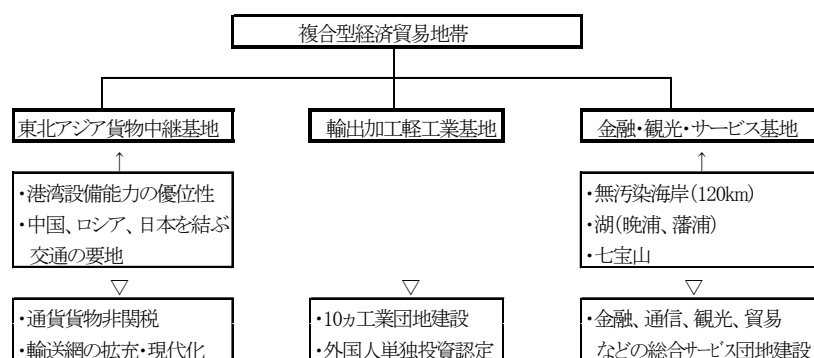
## 中朝経済連携の地域性



## 北朝鮮の経済はどんな状態か

- 1990年代前半からの経済危機が終わり、1998年からは緩やかな回復基調、05年には「上昇軌道」へ
- 電力、金属、石炭、鉄道運輸の4大重点部門はそれなりに回復し、機械工業も回復へ
- 軽工業はいまだ苦戦←原材料供給問題
- 2010/11年は国民生活向上のために軽工業と農業に重点を置く

## 羅津・先鋒経済貿易地帯の開発構想



- 「特恵的な貿易および投資、中継輸送、金融、観光、サービス地域」（2010年1月27日）

## なぜ北朝鮮経済は苦しいのか

- いまだに残る冷戦構造と日米との対立
  - 米国による広範な経済制裁措置
- 産業設備の更新の遅れと生産の落ち込み
  - 1980年代にすでに設備更新の問題は顕在化
  - 社会主義国との貿易で立て直しを図る
  - 旧ソ連・東欧の社会主義政権崩壊と社会主義市場の喪失→未曾有の経済的困難
  - 米欧日からの技術や投資の導入の難しさ

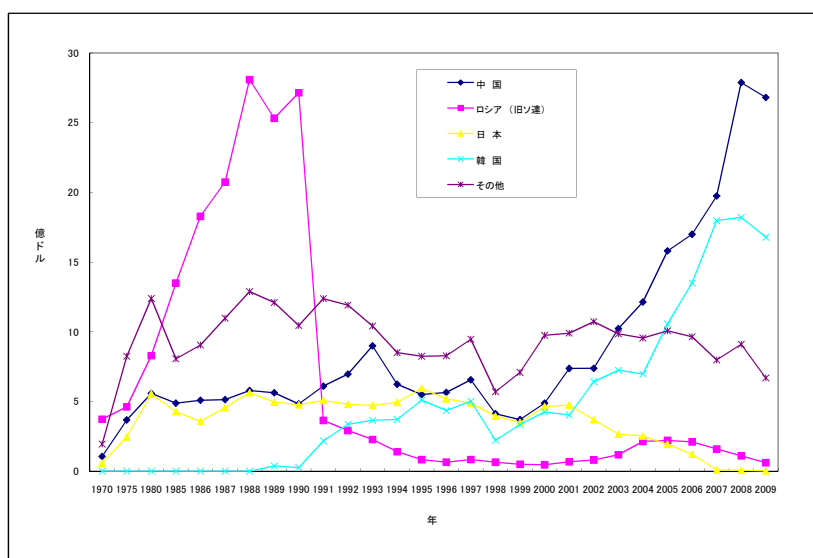
## 21世紀に入ってから北朝鮮経済

- 2002～05年は「実利」重視、06年以降は統制を強化
- 09年に貨幣改革・市場（いちば）廃止、しかし間もなく市場は再開
- 市場（いちば）経済はここ10年ほど拡大し、「下からの市場化」が進行中
- 国民の生活レベルは穏やかに上昇しているが、腹一杯食べることは難しい

## 非国営セクターの成長と経済格差

- 2003年6月、農民市場を「総合市場」  
（「地域市場」に改称）に改編
  - 市場内での個人の商行為を許容
  - 需給関係による価格形成公認
  - もはや商売は「恥ずかしいこと」ではない
- 経済政策はあくまでも社会主義計画経済重視
  - 非国営セクターをどこまで体制に取り込み、効果的に活用しつつ統制できるかが今後の課題

## 北朝鮮の国別対外貿易総額



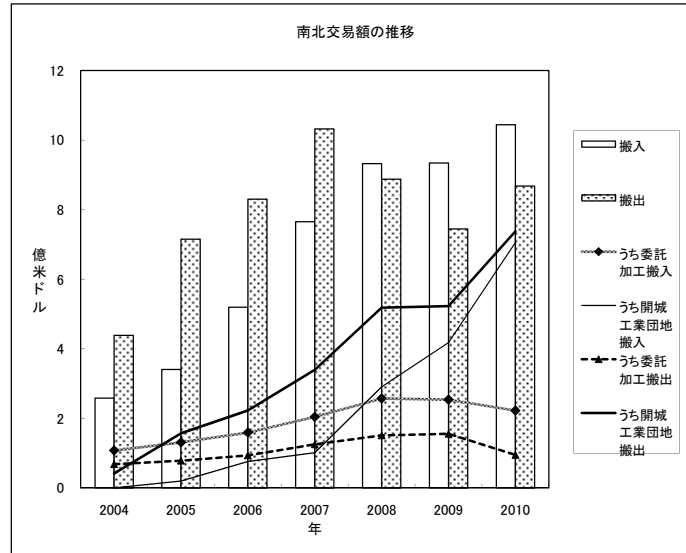
## 日朝貿易の推移

- 1961年から日朝貿易開始
  - 西側諸国では最高の貿易額
- 1980年代には北朝鮮の貿易シェア第3位に
- 1990年代には北朝鮮の貿易シェア第2位に
  - 2002年に韓国に抜かれる
- 2002年以降、日朝貿易は衰退の方向に

## 南北経済協力

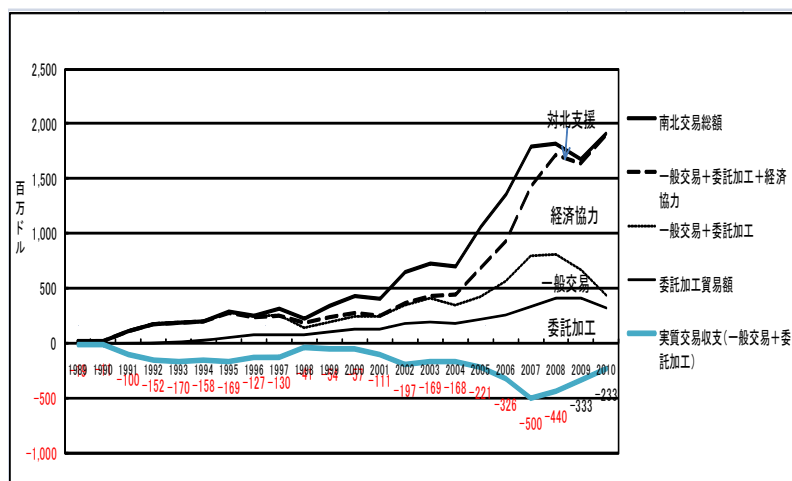
- 南北間の貿易、委託加工の増加
- 金剛山観光地区
- 開城工業地区（開城工業団地）の第1期分譲の進展
- 李明博大統領の当選と対北政策「非核・開放・3000」と北朝鮮の反発

## 南北交易の推移



## 南北交易の推移 (韓国基準)

(単位：百万ドル)



## 南北交易の推移(韓国基準)

(単位：百万ドル)

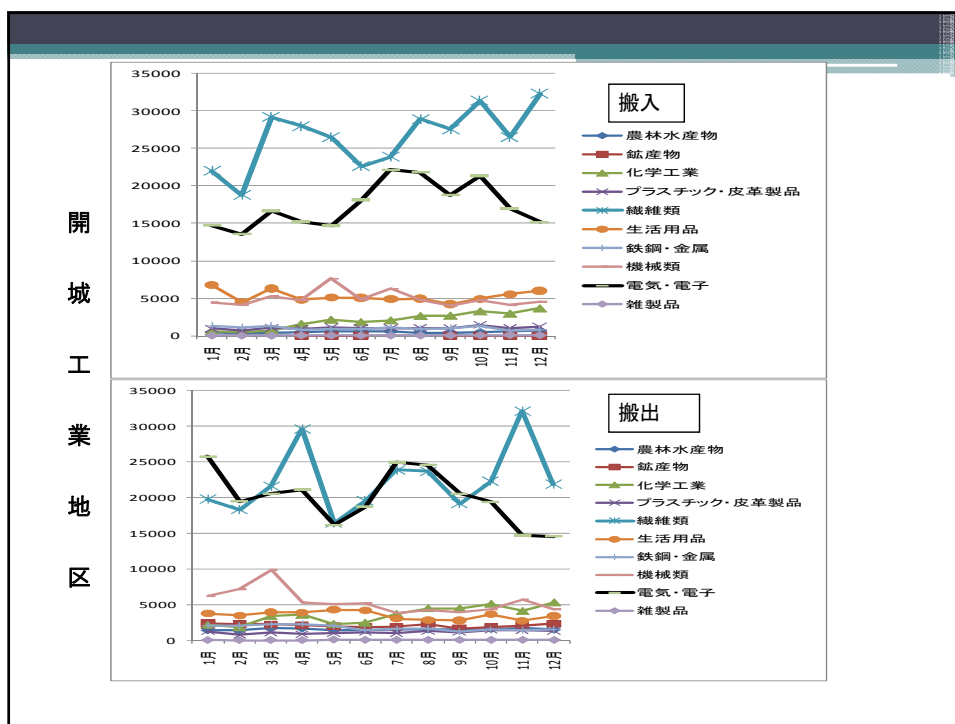
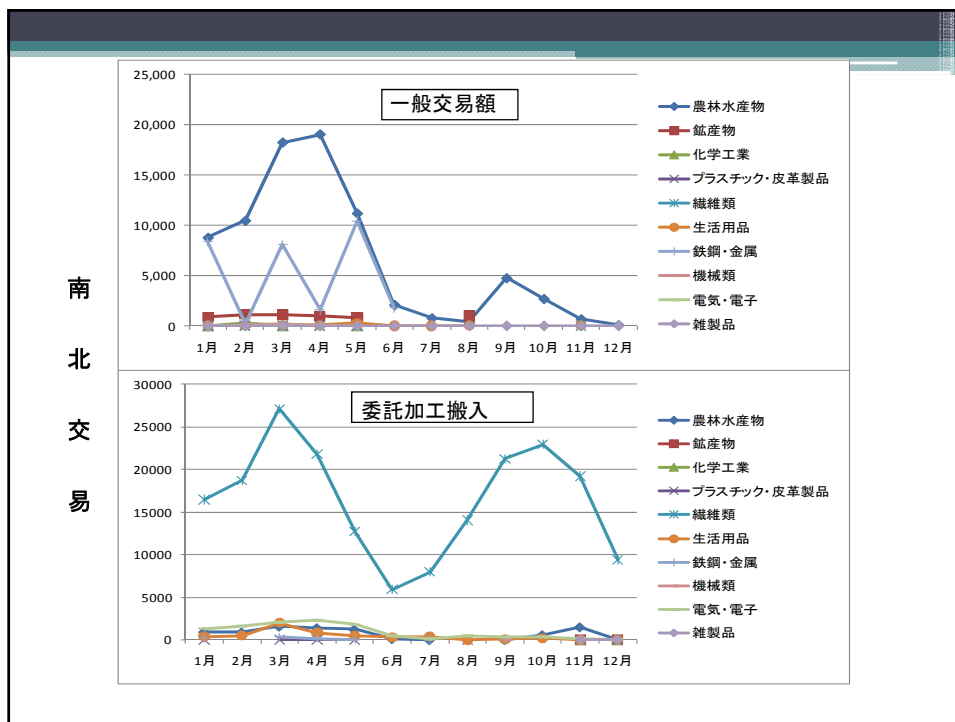
	交易総計			一般交易			委託加工			開城工業地区		
	合計	搬出	搬入	合計	搬出	搬入	合計	搬出	搬入	合計	搬出	搬入
2007	1,797.9	1,032.6	765.3	461.4	20.2	441.2	329.9	125.4	204.5	440.7	339.5	101.2
2007年構成比(%)	100.0			25.7			18.3			24.5		
2008	1,820.4	888.1	932.3	399.4	33.0	366.4	408.3	151.0	257.3	808.4	518.3	290.1
2008年構成比(%)	100.0			21.9			22.4			44.4		
2009	1,679.1	744.8	934.3	256.1	10.9	245.2	409.7	155.7	254.0	940.6	522.6	417.9
2009年構成比(%)	100.0			15.3			24.4			56.0		
2010年1月	169.4	79.9	89.5	18.2	0.8	17.4	30.2	10.8	19.4	116.0	64.7	51.3
2010年2月	153.5	77.1	76.4	12.4	1.5	10.9	35.8	14.0	21.8	100.3	56.7	43.6
2010年3月	202.0	82.3	119.7	27.8	1.8	26.0	42.8	10.6	32.2	127.5	66.5	60.9
2010年4月	190.0	85.8	104.2	21.8	1.3	20.6	37.7	11.1	26.6	126.9	70.3	56.6
2010年5月	156.5	59.4	97.2	22.8	0.9	21.9	23.3	7.0	16.3	109.4	50.7	58.7
2010年6月	122.8	56.9	65.9	3.9	0.0	3.9	7.4	0.5	6.9	111.1	56.0	55.0
2010年7月	161.9	89.2	72.8	0.8	0.0	0.8	31.8	23.3	8.6	127.3	65.4	61.9
2010年8月	163.6	82.2	81.4	1.4	0.0	1.4	29.6	15.1	14.5	132.1	66.6	65.5
2010年9月	144.9	58.5	86.4	4.8	0.0	4.8	22.3	0.5	21.8	116.1	56.4	59.7
2010年10月	165.6	69.7	95.9	2.7	0.0	2.7	24.9	0.8	24.1	130.2	61.2	69.0
2010年11月	151.5	71.2	80.3	0.8	0.0	0.8	22.2	1.3	20.9	125.5	66.9	58.6
2010年12月	130.6	56.3	74.3	0.1	0.0	0.1	9.5	0.0	9.5	120.6	56.2	64.4
2010年合計	1912.3	868.3	1043.9	117.7	6.2	111.4	317.6	95.1	222.5	1442.9	737.6	705.3
1月～6月合計	994.1	441.3	552.8	107.0	6.2	100.8	177.3	54.2	123.1	691.1	365.0	326.1
7月～12月合計	918.1	427.0	491.1	10.7	0.0	10.7	140.3	40.9	99.4	751.8	372.6	379.2
2010年構成比(%)	100.0			6.2			16.6			75.5		

## 南北交易の上位20品目

(単位：千ドル)

順位	品目	搬入額	順位	品目	搬出額
1	繊維製品	490,066	1	織物	288,613
2	産業用電子製品	90,426	2	電子部品	127,709
3	雑貨	60,465	3	繊維製品	41,223
4	電線	44,302	4	産業用電子製品	38,866
5	電子部品	35,460	5	電線	38,316
6	非鉄金属製品	33,177	6	雑貨	37,262
7	重電機器	28,466	7	農産物	36,324
8	農産物	25,001	8	産業機械	25,114
9	輸送機械	23,238	9	重電機器	22,938
10	家庭用電子製品	21,931	10	製紙原料と紙	22,894
11	製紙原料と紙	16,591	11	家庭用電子製品	22,449
12	繊維糸	14,949	12	鉄鋼製品	16,945
13	プラスチック製品	12,641	13	工具・金型	15,993
14	基礎産業機械	9,810	14	鉱物性燃料	13,410
15	産業機械	9,424	15	精密化学製品	12,941
16	織物	9,316	16	輸送機械	12,805
17	工具・金型	7,017	17	石油化学製品	12,127
18	その他機械類	6,101	18	繊維原料	11,666
19	文具	5,215	19	プラスチック製品	10,516
20	鉄鋼製品	5,046	20	基礎産業機械	7,363





南北間の一般交易・委託加工・開城工業地区の交易推移  
(単位：百万ドル、%)

	交易総計			一般交易			委託加工			開城工業地区		
	合計	搬出	搬入	合計	搬出	搬入	合計	搬出	搬入	合計	搬出	搬入
2007	1,797.9	1,032.6	765.3	461.4	20.2	441.2	329.9	125.4	204.5	440.7	339.5	101.2
2007年構成比(%)	100.0			25.7			18.3			24.5		
2008	1,820.4	888.1	932.3	399.4	33.0	366.4	408.3	151.0	257.3	808.4	518.3	290.1
2008年構成比(%)	100.0			21.9			22.4			44.4		
2009	1,679.1	744.8	934.3	256.1	10.9	245.2	409.7	155.7	254.0	940.6	522.6	417.9
2009年構成比(%)	100.0			15.3			24.4			56.0		
2010	1,912.3	868.3	1,043.9	117.7	6.2	111.4	317.6	95.1	222.5	1,442.9	737.6	705.3
2010年構成比(%)	100.0			6.2			16.6			75.5		
2011年1月	127.3	57.3	70.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0	2.5	123.9	57.2	66.7
2011年2月	122.4	51.5	70.9	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	121.4	51.4	70.1
2011年3月												
2011年4月												
2011年5月												
2011年6月												
2011年7月												
2011年8月												
2011年9月												
2011年10月												
2011年11月												
2011年12月												
2011年合計	249.7	108.7	140.9	0.1	0.0	0.1	3.3	0.0	3.3	245.3	108.5	136.8
2011年構成比(%)	100.0			0.0			1.3			98.3		

中朝間の経済協力の推移

時期	協力措置	内容
2004年2月	「北京華麗経済文化交流有限公司」の設立	中国にとって北朝鮮に対する投資を斡旋する組織を設立
2004年4月	金正日総書記の訪中	中国政府の発言：「中国企業が北朝鮮側と多様な形態の互惠協力を行うことを積極的に奨励する」
2005年2月	北京で「朝鮮投資環境説明会」を開催	300余りの企業に対し北朝鮮の投資環境と優遇政策および約20の重点プロジェクトを発表
2005年3月	中朝間に「投資促進および保護に関する協定」を締結	投資資産に対する保障措置で投資リスクを減少
2005年10月	胡錦濤総書記の訪朝	中朝間の多様な投資に対する支持
2009年10月	温家宝総理の訪朝	中朝投資協定・合意・MOUの締結 「経済援助に関する交換文書」 「経済技術協力協定」 (新鴨緑江大橋の建設、羅津港開発など)
2010年5月	金正日総書記の訪中	中国：中朝経済協力の強化・経済特区開発の加速化に合意
2010年8月	金正日総書記の訪中	羅先市、清津港の開発協力、経済協力の強化合意
2010年10月	平壤で「朝鮮投資環境説明会」を開催	合併投資委員会が中国朝鮮族企業家30名を招聘し投資説明会を開催
2010年11月	中朝政府間の協力協定	中国商務部と北朝鮮の合併投資委員会の間で経済協力協定を締結(羅先市、新義州地域の共同開発など)

## 2009年と2010年の中朝貿易の比較

(単位：千ドル、%)

	中国の輸出			中国の輸入			貿易総額		
	2009	2010	増減	2009	2010	増減	2009	2010	増減
1月	84,758	111,516	31.6%	41,460	36,210	-12.7%	126,218	147,726	17.0%
2月	91,042	117,149	28.7%	40,558	34,679	-14.5%	131,600	151,828	15.4%
3月	129,058	129,801	0.6%	57,339	55,115	-3.9%	186,397	184,916	-0.8%
4月	130,547	166,758	27.7%	66,560	66,565	0.0%	197,107	233,323	18.4%
5月	128,155	201,758	57.4%	63,593	63,869	0.4%	191,748	265,627	38.5%
6月	186,564	212,112	13.7%	82,311	91,544	11.2%	268,875	303,656	12.9%
7月	144,711	222,652	53.9%	84,303	136,084	61.4%	229,014	358,736	56.6%
8月	139,885	183,538	31.2%	87,642	162,925	85.9%	227,527	346,463	52.3%
9月	190,127	237,747	25.0%	80,181	131,491	64.0%	270,308	369,238	36.6%
10月	134,478	197,572	46.9%	56,027	128,768	129.8%	190,505	326,340	71.3%
11月	214,576	234,811	9.4%	52,733	133,676	153.5%	267,309	368,487	37.9%
12月	314,801	262,191	-16.7%	64,521	146,936	127.7%	379,322	409,127	7.9%
1月～6月	750,124	939,094	25.2%	351,821	347,982	-1.1%	1,101,945	1,287,076	16.8%
7月～12月	1,138,578	1,338,511	17.6%	425,407	839,880	97.4%	1,563,985	2,178,391	39.3%

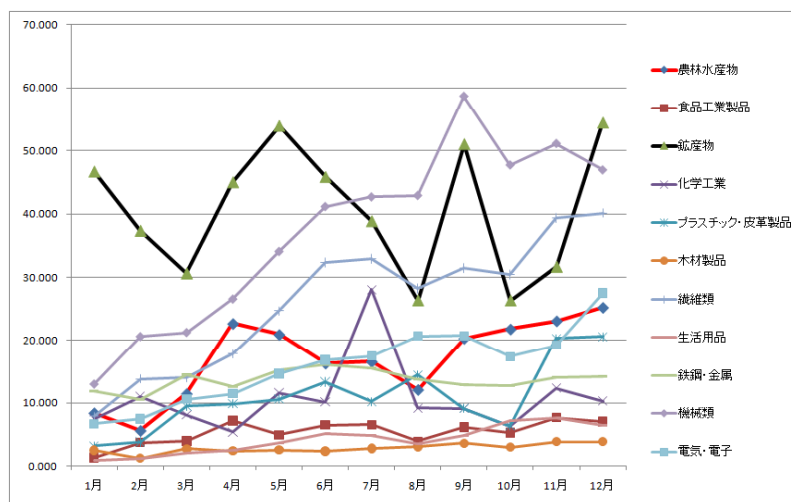
(出所) 2009年までは中国税関統計、2010年はWTAの各月統計

## 中国の対北朝鮮輸出上位10大品目

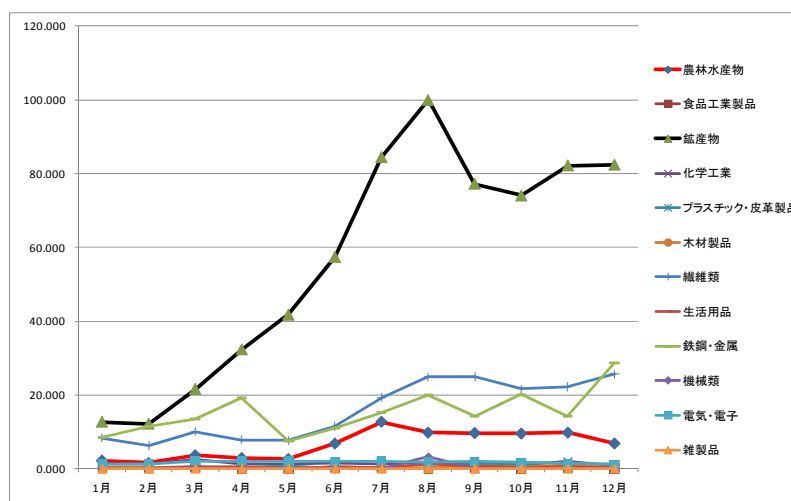
(単位：千ドル、%)

順位	中国の輸出	2008	2010	増減
1	原油・石油(2709+2710) (量千トン)	534,383 (646)	430,660 (673)	-19.4% 4.2%
2	ボイラ・機械類84	145,486	245,192	68.5%
3	紡織用繊維(54+55+56+60+61)	213,235	235,343	10.4%
4	電気機器85	100,646	190,691	89.5%
5	一般車両・部分品87	67,258	159,784	137.6%
6	鉄鋼製品(72+73)	87,995	123,047	39.8%
7	穀物+穀粉(10+11) (量千トン)	37,489 (129)	100,817 (289)	168.9% 124.0%
8	プラスチック製品39	80,045	84,422	5.5%
9	ゴム製品40	36,548	51,422	40.7%
10	肥料31 (量千トン)	12,730 (30)	41,225 (287)	223.8% 856.7%

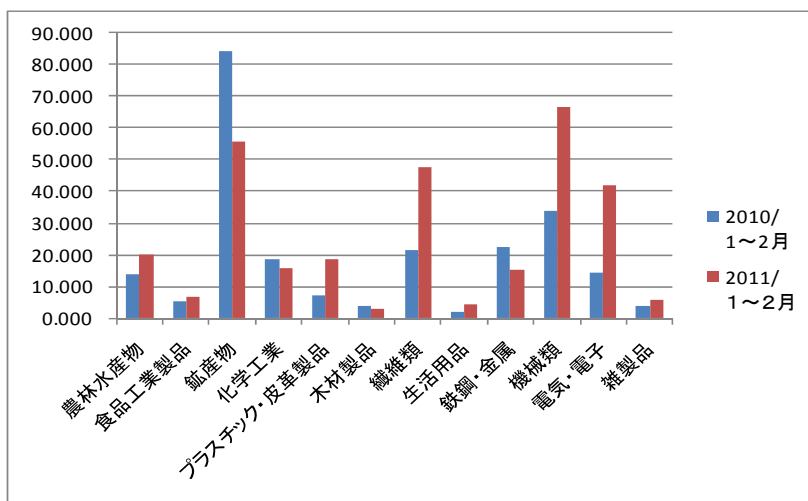
### 中国の対北朝鮮輸出（2010年、月別） （単位：千ドル）



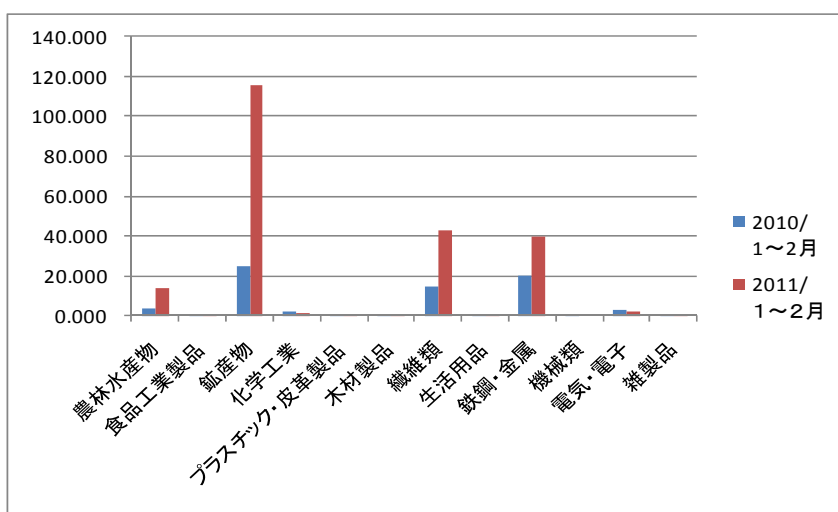
### 中国の対北朝鮮輸入（2010年、月別） （単位：千ドル）



中国の2011年1～2月対北朝鮮輸出合計(2010年と比較)  
(単位:百万ドル)

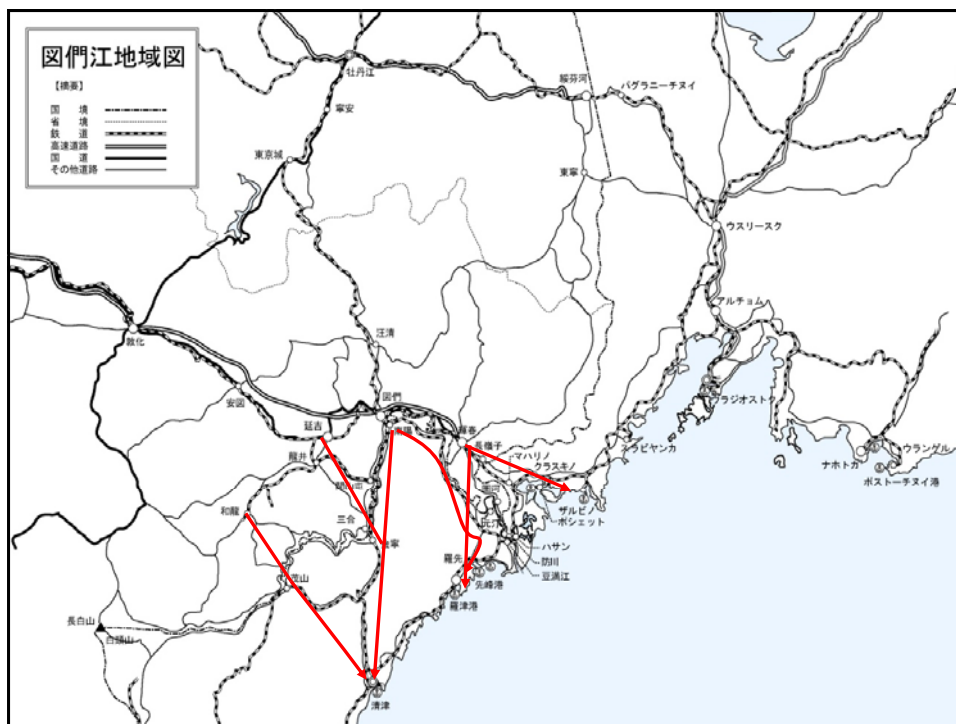


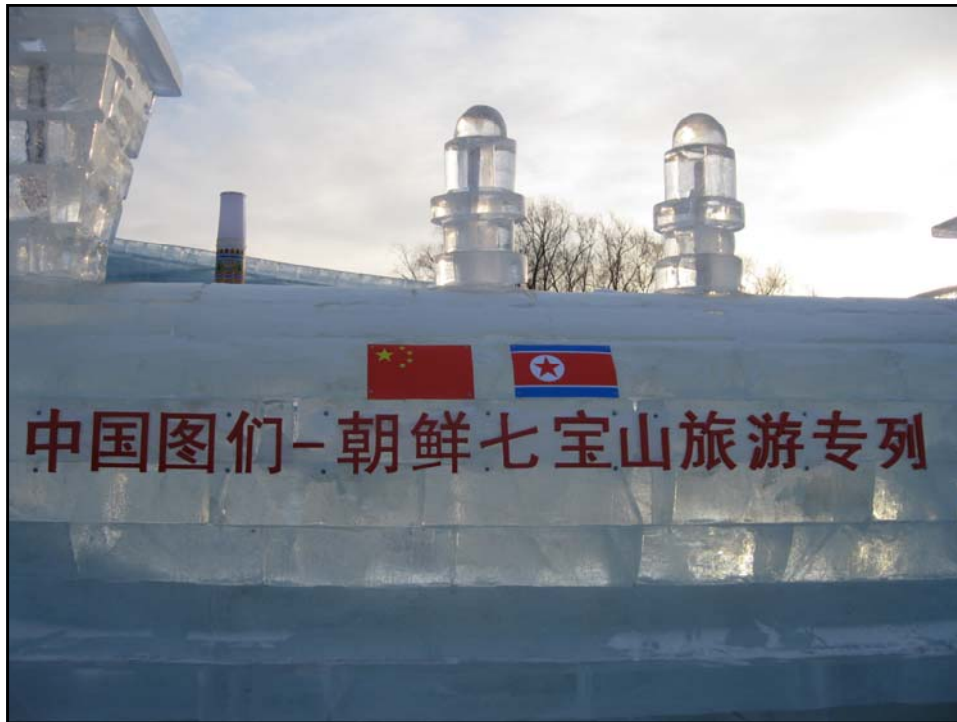
中国の2011年1～2月対北朝鮮輸入合計(2010年と比較)  
(単位:百万ドル)

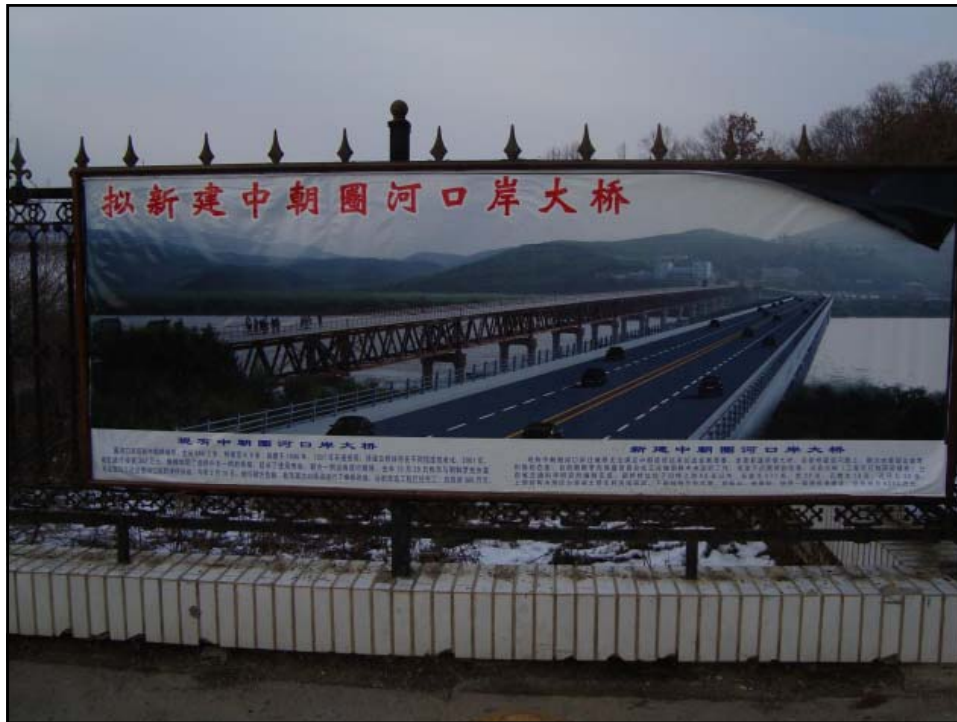


### 羅先地帯と清津における中朝間の経済開発協力の内容

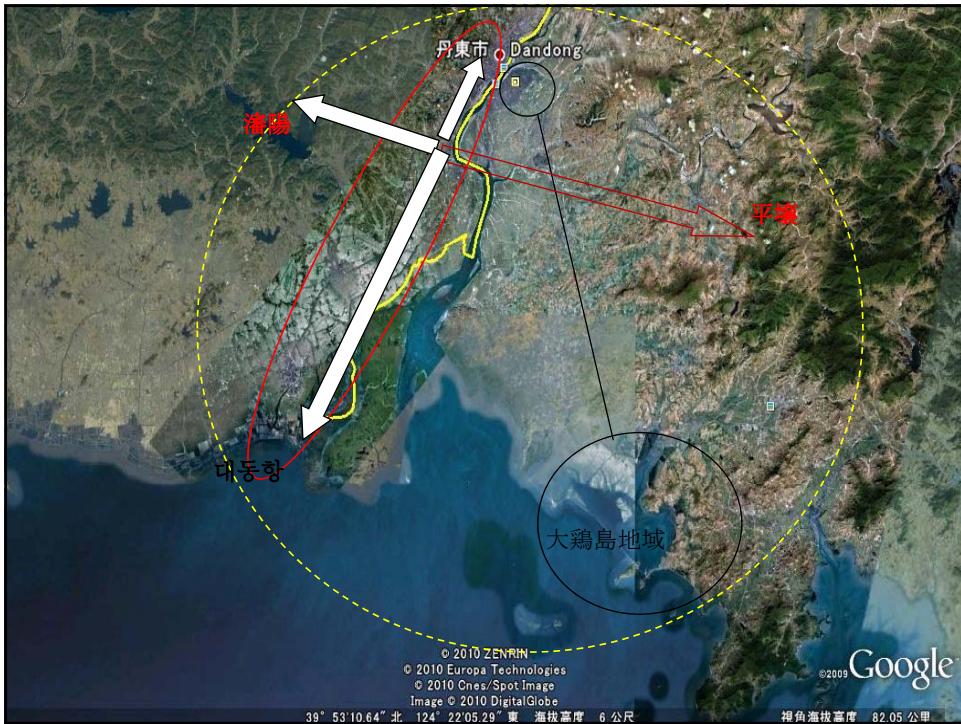
区分	対象	内容
道路	元汀税関～羅津港(54km) 旧道路改善・補修	・中国政府(吉林省・延辺州・琿春市)が3000万ドルを投資し2011年3月着工、2012年に完工予定 ・北朝鮮政府は羅先港付近の1km <sup>2</sup> の敷地を中国に提供し、中国専用工業団地を建設
	元汀税関～羅津港(67km) 高速道路新設	・中国商務部と北朝鮮合併推進委員会との総合契約(2010年11月) ・吉林省国際経済技術合作会社の投資
	会寧税関～清津港	・龍井市と羅先市が協議中
港湾	羅津港1号埠頭	・大連創力集団と羅先強盛貿易会社との契約(2008年7月、使用権10年) ・埠頭整備で2011年に年鑑150万 <sup>t</sup> 処理能力 ・2010年12月に琿春産石炭2万 <sup>t</sup> を上海・寧波に試験輸送開始(2011年1月に羅津港船積みと上海輸送完了)
	羅津港4,5,6号埠頭新設	・吉林省国際経済技術合作会社の投資 4号:30万 <sup>t</sup> 級鉱石埠頭 5号:20万 <sup>t</sup> 級コンテナ埠頭 6号:10万 <sup>t</sup> 級総合貨物埠頭
	清津港埠頭	・延辺海華輸出入貿易有限公司の投資
発電所	羅先火力発電所新設	・天宇建設集団の投資計画(7500万ドル) ・20万kW(10万kW <sub>2</sub> 基)











## 北朝鮮の経済改革の終点はどこか

- 「強盛大国」を見る視点
  - 目標は「経済大国」→中進国並みの水準を目指す
- 2011年の経済の目標は「人民生活の向上」
  - 軽工業と農業の拡大による国民生活向上が狙い
- 2012年、故金日成主席生誕100周年
  - 国民統合の象徴としての金日成主席
  - 国民をまとめる最後の大きな機会
- 国民生活向上への動きが遅すぎる

国防委員会	内閣
国防委員会委員長命令：「朝鮮大豊国際投資グループの活動を保障することについて」を公表し、大豊グループの外資誘致活動支援（2010年1月） <大豊グループの性格> ・対外経済協力機関であり、国家開発銀行に対する投資誘致および資金供給を保障する経済連合体	合弁投資を統一的に指導することを目的に、内閣に新たに中央指導機関として「合弁投資委員会」を設置（2010年7月） <合弁投資委員会の性格> ・外国の政府、民間機関、個別投資家との投資協定や投資契約の締結 ・様々な方式による投資と経済特区・工業団地の管理運営 ・新たな経済特区等の設置 ・合弁、合作、加工貿易等の各種の投資誘致活動 ・投資に関する一切の手続きの窓口
「国家開発銀行」を設立(2010年3月に理事会) 活動：食糧、鉄道、港湾、電力、エネルギーなど六つの経済インフラ部門に対する10カ年計画を実施（2010年）	「国家経済開発総局」を設立（2011年1月） 活動： ①国家経済開発戦略対象の全ての実施問題を専門に担当。 ②10カ年計画を実施（2011年、大豊グループに委任）

## 2011年の見込み：対話の環境づくり

- 2011年の北朝鮮の「新年共同社説」  
韓国に「対決政策」の撤回と対話の再開と協力を呼びかけ  
「東北アジアの平和と全朝鮮半島の非核化を実現しようとするわれわれの立場と意志に変わりはない」  
  
→ 韓国の挑発可能性が高まったことへの対応として  
「対話と協力」「民族共同利益優先」を呼びかけ  
(緊張緩和と平和、和解と団結、協力事業)

## 2011年の見込み：対話の環境づくり

- 南北対話  
軍事予備会談は決裂  
白頭山噴火可能性に関する共同調査（開城）  
赤十字会談可能性
- 米朝対話  
カーター米元大統領の再訪朝の可能性
- 中国の役割  
北朝鮮の後ろ盾の役と仲介役で朝鮮半島の安定

## 平壤の外貨電子決済カード



## 新しいトロリーバス



## 為替レート（公式レート）

외화교환시세표

2011년 1월 14일 현재

No	외국명	Unit	한국사는시세	한국받는시세	환지사는시세	환지받는시세
01	영국파운드	GBP	155.6000	160.3000	157.4000	158.2100
02	미국달러	USD	96.7000	99.6000	97.8600	98.3600
04	홍콩달러	HKD	12.4200	12.8000	12.5700	12.6400
05	싱가포르	SGD	76.3000	78.6000	77.2000	77.6000
07	스위스프랑	CHF	104.2000	107.3000	105.4000	105.9400
08	일본엔	JPY	1.1510	1.1860	1.1650	1.1710
10	시아프리카프랑	CFA	0.1900	0.2200	0.2100	0.2200
13	스웨덴크로나	SEK	15.3000	15.7600	15.4800	15.5600
14	오스트랄리아달러	AUD	97.8000	100.7000	98.9700	99.4800
15	캐나다달러	CAD	99.4000	102.4000	100.6000	101.1200
17	유로	EUR	134.9000	138.9500	136.5000	137.2000
20	러시아루블	RUB	3.3840	3.4850	3.4240	3.4420
21	중국엔	RMB	14.7300	15.1700	14.9000	14.9800

## 国内IPベース通信サービスの発展



## 信号機による交通整理



## 革命的大高潮



## 平壤市内は住宅建設が盛ん



## すべてを人民生活向上のために



## 総攻撃戦



## 世界を向いて





# 精神力



# 尖端を突破してより高く、より速く



## 金正日総書記の訪問した水産工場



## 羅先經濟貿易地帯の輸出品



## 総合水産加工場

